

一般質問

(4〜7ページ上段まで)

市議会定例会では、提出された議案を審議するほかに、一般質問として、各議員が市政全般に対して質問することができます。今回は20人34件の一般質問がありました。

(他はその他の質問)

緊急地震速報の受信設備
学校へ整備する考えは都に働き掛けるとともに
各市のシステムを研究したい

相原 博議員 阪神大震災をきっかけに、自然災害の被害を軽減するため、学校や地域で総合的に学び取り組む防災

教育の必要性が叫ばれている。広域的な災害の発生直後は、組織的な救護、救助が間に合わないことから、大人に限らず、児童・生徒一人ひとりがその時に対処できる防災力を身につけることが必要である。気象庁は、緊急地震速報の運用を開始したが、各学校では受信できる状況にあるのか。学校教育部長 同速報に対して、新たな設備の整備はしていないが、情報の入手手段としてはテレビ、ラジオが活用できるものと考えている。議員 他の自治体では、同速報の設備を整備している学校もあると聞くが、本市では設備を整備する考えは。



▲避難訓練 (府中第二小学校)

学校教育部長 都に働き掛けるとともに、速報の受信方法はテレビ、ラジオ以外に専用受信機等があるので、各市のシステムを研究していきたい。

他 新庁舎建設計画について

神原記念病院の診療拒否問題
病院に回答書の実行を
求めるべきではないか議会の指摘を受けることのないよう
必要な申し入れを行っていききたい

村井 浩議員 平成19年第4回定例会での一般質問でお願いした、神原記念病院に求められていた要望したことについて、病院側からの回答書の内容を聞きたい。

福祉保健部長 外来診療では、初期対応後、病態により適切

市民墓地
稲城市の区画整理事業
進ちょく状況は早ければ23年後半には
留保地の先行処分が可能とのこと

村崎 啓二議員 市民墓地の整備については、土地取得の予定が遅れており、市民要望と需要に合った市民墓地の早

建築確認審査手続の円滑化
どのように期間短縮を図るのか構造計算適合性判定機関での
事前相談対応等で短縮が見込める

稲津 憲護議員 耐震偽装事件を発端とした建築基準法改正により、建築確認審査等が厳格化され、審査期間が長期化し、住宅着工戸数が減少するなどの問題が起きている。このため、国は、建築確認

手続の基準を見直し、本市でも、それらを踏まえ、手続の円滑化を図ると聞くが、具体的に何を効率化し、審査期間の短縮を図る考えか聞きたい。

都市整備部長 国の見直しの内容が、「申請書の補正や追加説明書による訂正が認められる軽微な範囲が広げられたこと」、「認定書の写しの訂正については、認定番号リストが公表されることになり、これで確認できれば、建築主事が求める場合以外は提出の必要はないとしたこと」、「構造計算適合性判定の判定機関で、不適箇所指摘を含め、事前相談に対応することになったこと」等であり、これらにより、審査期間の短縮が見込めると考えている。

員に周知・指導し、来院者にとつて最良の方法を選び医療を提供し、地域医療を担う病院として機能してもらうよう、改めて申し入れていきたい。

議員 回答書の実行を求めることについて、同病院に伝え、改めて注意喚起すべきではないか。



▲保育所にて

市次世代育成支援行動計画で定めている待機児童の解消予定等に対しては、現状とのギャップが生じているのではない

議員 市西部地区では、南武線新駅開設や宅地化等により、待機児童が増えると予測されるが、市の対策を聞きたい。

市西部地区の待機児童対策
市の考えは保育需要を的確に判断し
施設整備など対応していききたい

手塚 歳久議員 本市では、乳幼児数が増えるなど、若い世代にも魅力あるまちづくり

が進んでいる一方で、保育所待機児童数は、あまり減少していないと感じる。

村木 茂議員 市の行財政改革推進プランでは、限られた

支出がどう改善されるのか

公共施設の管理・運営
民間委託する意義は民間の専門知識等を活用し
財政負担の縮減が図られる

されており、今後、様々な墓地形態の研究をしていきたい。

議員 遺骨を保管していない人も墓地の申込みは可能か。

総務部長 墓地需要を踏まえ、生前申込みも検討したい。



▲市民保養所「やちほ」

市長 民間の専門知識等を活用し、経費削減などで財政負担の縮減が図られるとともに、利用時間の延長等、施設運営面での新たなサービス展開が見込まれることなどである。

議員 平成20年度に指定管理者制度を導入する市民保養所やちほを参考に、市の支出がどう改善されるのか聞きたい。

子ども家庭部長 同計画では、平成21年度末に待機児童が解消されるとしたが、現時点で待機児童数が100名を下回るのは難しいと推測している。

今後とも、1名でも多くの保育所定員増ができるよう努めていく。